

銀賞

メッセージを書いた方 M 様

サービス種別

メッセージの相手 品川区立大井認知症高齢者グループホーム



母の様子がおかしいと連絡をもらい同居を始めた私。テレビなどの報道で、認知症とのかかわり方によっては本人を追いつめてしまうと聞いて、自分は大丈夫とたかをくくっていたのに、気がつくとは母を追いつめていました。自分もいっぱいいっばいで、この先の生活が見通せない時期にグループホームから面談の連絡が来ました。

傍から見たら、介護しているうちに入らないだろうと思っていた私に、「いえ、介護していますよ。頑張っていますよ。遠慮する事はありません。私たちはその為にいます。気にする必要はないです。」と言われて、とても救われた思いがしました。

1か月後に入居が決まり、今度は母にどう伝えるかを悩む私達家族にアドバイスをくださいました。「ウソはダメです。その場しのぎになってしまいます。最後は私達の経験と知識で納得して頂ける様にやりますから、安心して下さい。」と背中を押してくださいました。現在、母も私達家族も全幅の信頼を寄せて安心して生活しています。いつも感謝です。

在宅サービス特別賞

メッセージを書いた方 早水 芙佐子 様

サービス種別

メッセージの相手 ヘルパーステーション・湯〜亀



本年1月に室内で転倒。頭部裂傷と頸椎損傷を負いました。強い目眩いと吐気が続き、要介護3の認定を受けました。元気だった私がある日突然、介護を受ける身となったのです。往生はしたものの、私は特におしものお世話を受ける時は体が硬くなってしまいます。

大勢のヘルパーさんのお世話になりましたが、私が長いベッド生活でこのまま終わるのだろうかという不安から、ウツっぽくなり暗くなっていった時のことです。特に長く関わってくださっているヘルパーさんが、区内数ヶ所の満開の桜や、道路に散った花びらの写真を撮ってきて見せて下さったのです。

決して多くを語らず、ソッと私のところに寄り添って下さるのです。その優しさに救われました。一本筋の通ったやさしい方です。こころの中にふみ込まず、距離をもって見守ることの出来る方です。私はこの方のようになりたいと思っています。出会えたことに感謝。

銅賞

メッセージを書いた方 O 様

サービス種別

メッセージの相手 大崎ホームヘルプサービス



99歳を過ぎての転倒をきっかけに、突然歩けなくなりお世話になりました。母は他者が家に入ることや排泄介助に強い抵抗と拒否がありました。私と姉だけの介護は厳しく、専門家に教えてもらいたいと母に話して納得してもらいました。職員さんには先生や看護師を演じてもらい、協力を得ました。

初めは職員さんの「明日伺います。」に「ご遠慮します。休んでください。ここに居ません。」と拒否して、どうなるか心配でした。職員さんが動じずに根気よく母に言葉をかけ続けたところ、母は「お待ちしております」と。流石プロだと感心しました。私が愚痴や人間関係等で心をざわつかせてボソッと呟くと、「分かりますよ。」と受けとめてくれ、今迄の人生や介護経験等を通じた様々な話が出ることに救われます。

ケアは楽しい雰囲気の中で進み、初めから終わり迄声を出し笑っています。母も褒められると嬉しく、できることの指示には元氣よく「はい！」と応じています。いつも丁寧に清潔にして頂き感謝です。

入所サービス特別賞

メッセージを書いた方 星野 河織利 様

サービス種別

メッセージの相手 ロイヤルサニー



要介護5の母が91歳の時に特養入居が決まり、今年で2年目を迎えた。母は家を出ることを嫌がったが、母子二人でいるより、施設で栄養管理や介護の行き届いたサービスを受けるほうが生活にメリハリも出るし、家族も安心出来るからと説得した。

最初は母も慣れない環境に戸惑っていたようだが、徐々にそれにも慣れていった。毎月送られてくるモニタリング評価には施設での様子が細かく記載されており、緊急時にはすぐに連絡もくれるし、経過報告もぬかりないことで、離れていても不安を感じることはない。

認知症を患っている母のことを、施設の方は手を替え品を替え、優しく対応してくださっている様子が良く分かる。とても私一人では出来得ないことだ。日々支えて下さっているスタッフの方には、感謝してもしきれない。

そのおかげで、私も仕事を続けることができる。介護をして下さる方がいるから、社会は回っていきけるのだ。